



- 賀詞交歓会・新春講演会
- 平成28年度MISA事業計画
- 各種委員会報告
- 新入会員紹介

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10仙台北辰ビル5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp  
■URL/http://misa.or.jp ■企画・編集/情報発信部会 ■印刷/ハリウ コミュニケーションズ株式会社



## 賀詞交歓会開催

新春恒例の賀詞交歓会が平成28年1月14日（木）パレス平安において東北経済産業局、宮城県、仙台市、関係団体からのご来賓を含め、会員皆様250名を越える出席のもと開催されました。

はじめに、協会を代表し早坂会長より、新年の挨拶があり、東京大学大学院経済学研究科 モノづくり経営研究センター特任研究員の吉川良三氏に「日本型第4次モノづくり産業革命～日本産業復活のカギはIoT～」と題して、産業の活性化に対するIoTが関わる重要性等について講演を頂きました。引続き交流会に入り、ご来賓の皆様よりご祝詞をいただいた後、当協会顧問の宮崎氏の乾杯の音頭により懇談となりました。

景気回復の兆しが見えてきた中、新春独特の華やかさも加わり、これまでにない多くの参加をいただき始終和やかな雰囲気の中、会員相互の情報交換や親睦を深める場となりました。中締めは奥瀬副会長に三本締めの音頭をとっていただき盛況裏に終了することが出来ました。ご来賓、そして会員の皆様の多数ご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。



## 新春講演会・賀詞交歓会 会長挨拶

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 会長 早坂 栄二



皆さん、明けましておめでとうございます。

宮城県情報サービス産業協会（MISA）会長並びにテレコムサービス協会（テレサ協）東北支部会長を仰せつかっている早坂でございます。

本日は、両協会共催の新春講演会並びにMISA賀詞交歓会に、ご来賓の皆様を始め多数の会員の皆様にご参加いただきまして誠に有り難うございます。皆様と一緒にこのように新春を迎えられますことを、まずもってお慶び申し上げます。

また、旧年中は当協会の事業活動に対しまして、格段のご支援ご協力を賜り誠に有り難うございました。あらためて御礼申し上げます。

さて、我が国の景況ですが、総体的に踊り場にあると言われております。

アベノミクス始動から1年半、大幅な円安、株高が進み、デフレ脱却、とも言われ、国民の心理を明るくさせました。

そして今年度については、当初実質成長率が2%、とも期待されたのですが、しかし、今年度前半の四半期は、2期連続でマイナス成長となりました。（その理由については）確かに円高・原油安の交易条件改善などで、企

業収益は過去最高水準だったのですが、実質輸出は増えず、個人消費も増えず、また設備投資も弱かったことが主な要因のようです。

今後の景況については個人投資や設備投資の持ち直し等プラスの要素が予想され、「緩やかながら回復基調にある」とされておりますが、一方、「一層減速する中国経済」の影響など、まだまだ予断が許されない状況ではないかと思われま

一方、東北経済については、生産の持ち直し、公共投資や求人倍率の高い水準などから、全体として震災前の水準まで回復しているものの、弱含み状況が続いており、しばらくは厳しい状況が続くものと予想されています。

このような状況の中における、「我々IT業界のビジネス環境」は、平成22年から回復傾向にあり、リーマンショックや大震災の影響などでIT投資を先送りしていたユーザー企業の投資再開、あるいは特定の業界における集中的なIT投資などの動きも見え始めております。

皆様ご存じのとおり、今日の情報システムは、社会・経済の重要なインフラであり、武器でもあります。基盤となる生産性向上のみならず、イノベーションを誘発する強い力を持っていることは疑いのないところであり、

社会的課題解決さらには国や企業の競争力強化に大きく貢献するものであります。政府はこのことをよく御存じであり、したがって「世界先端IT国家」を目標に定めているわけでありまして。

その競争力の源泉であるソフトウェアの価値を生み出すのが情報サービス産業、社会的使命と責任は、ますます重大になっております。

そして我々地域IT業界としては、それらに応え、「地域ビジネスを活性化して地域経済を索引していく基幹産業」となることが重要と考えます。

当協会（MISA）は東北で最大のIT業界団体であり、経済産業局、宮城県、仙台市、および大学等との密接な協力関係のもと、着実に実践を積み重ねてまいりましたが、お陰様で今年で設立20周年を迎えることとなりました。

事業環境が大きく変わる中、直面する諸課題も多いのですが、厳しい状況だからこそ進化のチャンス、自ら変革し体質を強化する機会ととらえたいと考えます。こ

れまでの実績を着実に踏襲していくと共に、魅力あるIT業界としての新たなビジネスチャンスの創出や経営強化に資する施策にも積極的に取り組んでまいり所存であります。

どうか今年も旧年にも増して皆様方のご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日の新春講演会は「日本型第4次モノづくり産業革命～日本産業復活のカギはIoT～」と題して、東京大学大学院 経済学研究科 モノづくり経営研究センター特任研究員としてご活躍の、吉川良三様にお話をいただきます。大変興味深い貴重なお話をいただけるのではと思っております。

吉川様には、お忙しいところ誠に有難うございます。どうかよろしくようお願い申し上げます。

それでは、今年が皆様にとって良き年になりますよう祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。有難うございました。

## 新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

東北経済産業局 地域経済部 部長 **岩瀬 恵一 様**



昨年1年を振り返ってみますと、経済環境は原油安ですとか円安とかということもありまして、一般的には日本全体として企業収益はかなり良かったというふうに言われております。東北地域を見ましても、相変わらず復興需要はそれなりにございまして、消費が弱いという点はありましたが、比較的堅調にきているなという感じで見ております。

政府全体としては、ローカルアベノミクスの浸透ということでやっておりまして、特にここ1、2年、都市部の大企業に対して、せっかく原油安とか円安によって収益が上がったわけですから、上がった収益をうまく賃金に反映させ、消費を活性化させてくれるようお願いしているところでございます。東北地域においてそれが当てはまるかどうか不透明なところもございまして、東北のIT産業も活性化しつつあると伺っておりますので、企業収益に応じて、うまく賃上げなどをご配慮、ご采配いただければありがたいと思っております。それから、最近のIT政策関連のトピックスとしますと、やはりなんといってもIoTです。年末閣議決定されました政府全体の予算案、経産省の予算案でもIoTというものは1丁目1番地のような扱いを受けておりまして、ものづくりの情報化によって付加価値を高めていくということでございます。実際具体的な動きとしまし

ては、昨年10月に経産省と総務省が中心となりましてIoT推進コンソーシアムを立ち上げ、さらに実際のプロジェクトを推進するための組織として、IoT推進ラボを立ち上げました。ここでは具体的なモデル事業を推進したり、企業間の連携を強化したり、規制改革とかルールに関する検討を行っていくような様々な取組を行っていくことのようにあります。今現在、約1,300弱の企業が会員になっていると聞いておりますが、基本的には登録は無料、誰でも入れるということですので、IoTに関する流れを知っていただくためには登録していただいて仕事に活かしていただければと思いご紹介申し上げました。

それから、IoT、ITの推進と表裏一体となりますが、セキュリティ対策の強化ということでありまして、これもセキュリティ人材が不足している調査結果の現状から、政府全体としてもセキュリティ人材強化ということに取り組んでおります。その具体的な方策としては、セキュリティスペシャリスト試験の登録制とか更新性を導入したり、あるいはユーザ企業においてもセキュリティマネジメント試験を新たに新設して、セキュリティに関する知見を有する人材を育成しようという様な取組を進めてきております。

今年には3.11震災から5年になりまして、いまだに被災

地においては土地のかさ上げとか遅々として進まない面もございますが、いずれにしてもITは復興を含めているんな基盤技術となりますので、ご支援いただければと思っております。

それでは、MISAのご発展と、それから東北楽天イーグルスの優勝を祈念いたしましてごあいさつとさせていただきます。

## 新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

宮城県震災復興・企画部 次長 **大森 克之 様**



貴協会の皆様には、日頃より県政の推進に多大なるご理解・ご協力を賜り御礼申し上げます。今年はMISA設立20周年ということで、いろいろな場面でお世話になることがあると思います。本年もよろしく願い申し上げます。

今年は東日本大震災から5年になります。県の震災復興計画は平成23年から32年までの10年となっておりますので、今年は折り返し地点に達するということになります。この間、復興事業に取り組んできており一定の進捗は見られますが、5年も経ちますのでこれからは本当に具体的な成果が求められていくことになるかと思っております。そういった部分でも皆様のお力を借りながら、復興をますます加速していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

情報産業の環境に目を向けますと、ご承知の通りICT技術者の不足が続いている状況でございます。県では昨年、MISAの皆様とも協力いただき「ICT-WORK せんだ

い・みやぎ」という取組みをスタートさせました。スタートしてまだ半年しか経っておりませんので、具体的な成果はこれからですが、ICT技術者の確保、育成がますます大切だというふうに思っております。今年もそういった部分でも皆様のお知恵をお借りしながら取り組んでいきたいと思っております。

さて、話は変わりますが、昨年行われました国勢調査の速報値を1月12日に発表させていただきました。新聞でも大きく取り上げられましたので皆さんもご覧になったのではないのでしょうか。来週には平成25年度の県民経済計算の確定値の発表も予定されております。数字の内容につきましては、いろんな分析、解釈の仕方もありますのでここでは申し上げますが、東北全体で見ますとある意味で宮城県は恵まれている部分があるかと思えます。一言で言いますと、震災の影響があるものの、かなり復興需要に支えられている部分があるように思えます。先ほど震災復興計画は10年の折り返し地点



に達すると申し上げましたが、今後の5年間で復興需要が徐々に小さくなっていき、人口や経済等いろんな面で反動が予想されます。我々としては、この反動をできるだけ小さくするとともに、新しいものを作り上げていく事をきちんと考えていくべきだと思っております。反動を小さくして、新たな産業を作り上げていく一つの大きなエンジンとして私どもが大きく期待しているのがやはりICTであり、情報サービス産業であり、そういったこ

とで、皆様の知識・知恵をお借りしながら、一緒に汗をかいていければと思っている次第でございます。いずれにいたしましても、皆様と協力するところは協力し、連携するところは連携し、切磋琢磨するところは切磋琢磨しながら、一緒に取り組んでいければ幸いです。

本年が皆様にとりまして良い1年となりますことを祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

## 新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

仙台市経済局産業政策部 部長 梅内 淳 様



今年の年末年始、大変穏やかでございまして、スキーを楽しみにしていた方は残念だったかもしれません。12月の30回目の光のページェント、過去最高の人出でございました。初売りも、ここ数年にない賑わいだったということで、インフルエンザが流行らなく、雪も降らず、転んだ人もなかったため、消防の出動も少なく、市役所的に大変良い正月を迎えることが出来ました。

12月16日には地下鉄東西線が開業いたしまして、乗車率68%、いいのか悪いのかわからない数字でございますが、南北線の開業と比べますと7%増えておりまして、いろんな意味で新しい投資が新しい交流を生んでいるのかなと思います。

人口については、先ほど大森次長の方からお話がありましたが、仙台市は増えておりますけど全体的には厳しい状況になってきているのかなということでございます。少子高齢化ということで、MISAの皆様も人材確保に苦労されていると思います。今、仙台市は宮城県と共に地元13大学と連携しまして、地元定着率を10%上げようという取組みを始めたところでございます。ぜひその際、お力をお借りして優秀な人材に地元に残ってもらえるように、人口流出を止めるように努めていきたいと思っております。

この1年実り多き年になりますように皆様と共に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



# 平成28年賀詞交歓会記念講演（一部抜粋）

## 日本型第4次ものづくり革命

### ～日本産業復活のカギはIoT～

東京大学大学院  
ものづくり経営研究センター

経済研究課  
特任研究員

吉川 良三氏



#### ◆ MtoM と IoT の違い

MtoM というのは確かに機械 to 機械ですから FA とかセンサーでネットワークされたものです。例えばキューピーマヨネーズがやっていますが、マヨネーズの材料は卵と油が主体ですので温度の影響に大きく左右されるわけです。うまくコントロールできないと3日か4日で腐ってしまいます。温度をコンマ単位でコントロールするためセンサーとやり取りして自動的に管理していますから、機器と機器がネットワーク化されているわけです。

でも、これは機器と機器ですから自動化です。しかし、IoT というのは機器と人間とが情報交換するわけです。特にロボットの AI は人間の経験と知識が相当ないと機能しません。

AI による産業用ロボットを活用した製造業に関しては、日本の方が優れていると思います。

日本は、常に改善活動をしていくことで知識を蓄積しています。つまり匠のノウハウを持っているわけで、これをロボットに教えていかないと AI のロボットはうまく働かないわけです。だから人工知能と人工頭脳は違うわけです。人工頭脳というのは鉄腕アトムみたいなものを育てているわけですので、10年、20年経たないと知識が増えないですが、AI の場合は教えたらその場で役に立つわけですから、そういう意味で日本の方が強いと思います。

ビックデータを解析して、その解析結果をロボットが読み取るなんてありえないことです。やはり人間が判断して指示をしないといけないわけで、IoT の場合は機器と人がいかに情報交換するかということが大事になるわけです。

#### ◆ 変革が大事

IoT によるモノづくり変革というのは、ビジネスモデルを含む企業活動全体を再考することです。IoT でやると工場がいきなり無人化して、全部つながってスマートになって、何か夢みたいのことを言っていますが、そうではなく、この産業革命、情報通信革命をきっかけとして新しいビジネスがどうやったら生み出されるか、企業活動全体を見直すことだと思います。そして「スマート工場」というのは、スマートという賢い工場という意味ではなくユーザーが求める物やサービスを的確に捉え、それを迅速に設計、生産して世に出すことが大切だと思います。今までには、物、ハードウェアとサービスは分かれていましたが、これからは一体にならないと競争できない時代になってきました。ハードだけで勝負するのではなくサービスというのはハードが無ければ成り立たないし、サービスが無ければハードも成り立たない時代に来たんだということです。それからよく海外進出とか言っていますが、これも情報通信革命により距離と時間が限りなくゼロに近づき、日本に居ても海外の工場に指示することができるからなんです。そしてそれがリアルタイムでできることです。

リアルタイムに指示したり、制御したりコントロールできるというのが IoT の特徴だと思います。

#### ◆ サムスンの IT 戦略

サムスンや LG はもともと部品を国内で生産していましたが、それを全部やめて、安いものは中国に任せるという戦略を3年前から打ち出し、今ではベトナムの方に移し、そこから部品を供給しています。部品といってもほとんどが半導体です。しかし、ま

だまだ中国の携帯電話等の部品は日本製が8割を占めています。例えば抵抗やセラミックコンデンサー、コネクター等の部品は間違いなく日本製です。みなさん日本はすごいと思うでしょうが、それらの部品は1個何十銭単位ですので、サムソンのグラフィックエンジンは1個何万円もするわけですから、金額いわゆるコストで見ると、全体の1割位で90%がサムソンに持って行かれています。こういうことでサムソンは、半導体中心の世界から完全に脱却しています。

現在、IoTを取り入れ標準化された家電をサムソンはいち早く作ってしまっています。

だから、パナソニックも、三洋電気を買収した中国のハイアールも、全部つながっているわけです。これからは、ハイアール製品が日本にも出てきますけど、非常に高級機です。

ヨーロッパやラスベガス等で毎年CEショウをやりませんが、ハイアールの冷蔵庫全体がグラフィックディスプレイになっていて、庫内の中身やレシピ、調理方法まで表示されるという感じで、1台40万円くらいします。

このような新しい取組にチャレンジしていくことで、サムソンの売り上げは、20兆円を超えています。携帯電話も高級機に特化しましたし、すべて戦略であり、うまくITを使っているということです。

#### ◆戦後レジームからの脱却

今の安倍政権で『戦後レジームからの脱却』とか言われていますが、それにはIoTを活用したらどうかというのが私の提案です。もう製造業というのは、日本でモノを作る時代ではなくなっています。グローバルですから、世界のどこで作っても先ほど言ったように時間と距離がゼロなんですから、リアルタイムにできるとしたら、日本の高い賃金で作る必要はない。

ただし、それとサービスを組み合わせた場合は別です。それは日本でやればいいわけでそこで利益を

上げることだと思います。

今、日本が世界に比べて非常に苦しんでいるのが地方創生です。その中でも特に農業改革とか農政改革、農協改革とかいろいろありますが、農業改革というのは、トヨタやクボタ等が参入していますが、IoTを活用したサービスを始めようとしています。トラクターとか耕運機を無料で提供する動きで、GEがジェットエンジンをボーイング社に無料で提供しているのと一緒です。何で稼いでいるかというと、IoT活用することで飛行状況がわかりますので飛んでいる時間だけチャージする。それからいろんなセンサーにより運転状況や風向き等の情報により、どの部品がどんなメンテナンスをすべきかがわかるわけですから、空港に着陸したときにそのメンテナンス屋さんリアルタイムに指示できるわけです。そういうところでGEは稼いでいます。去年のGEの売り上げの7割はそのサービスです。



# 平成28年度MISA事業計画

委員会名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
企画・広報委員会		・事業運営会議(H28第1回)委員会	・理事会(第19, 20回) ・第5回総会 ・20周年記念講演会&記念パーティ9日		・顧問・参与懇談会 ・事業運営会議(H28第2回)委員会	
経営委員会	・法的問題対応研修セミナー ・MISA会員企業の現状調査の分析・フォローアップ ・経営強化 経営者や経営幹部が学び合う場の提供(実施内容検討) ・親睦ゴルフ大会(春季)	テーマ選定 ・MISA交流サロン 委員会	調査実施方法項目検討 委員会	講師依頼 (準備) ・Misaliy女性交流会 委員会	・ISMSセミナー ・第1回弁護士セミナー	・MISA交流サロン 委員会
人材確保推進委員会	・企業説明会・業界研究会等 (1)出前合同企業説明会(学内会場) (2)業界体験・企業研究講座の実施 (3)会員企業の採用力強化に向けた取り組み ・産学協同実践的IT教育事業 (大学・高専生・専門学校生・留学生向け) (開校準備作業) (講師派遣企業募集) (中学・高校向け出前授業)		(随時対応) (随時対応)			・インターシップ体験型実践的研修体験
人材育成委員会	・新入社員向け研修 (認定職業訓練) ・中堅社員向け研修 ・技術研修(技術向上セミナー) ・次世代交流会 ・グローバル人材育成	研修実施 (準備)	・新入社員研修・特別企画 ・中堅社員向け研修(1)		・フォローアップ研修 次世代交流会(1) ・中堅社員向けセミナー	(次年度計画検討) 委員会
福利厚生委員会	・交流・レクリエーション関連 ・ヘルスケア ・福利厚生事業の広報活動	①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③討検・画企新 ・新人研修 (HP、情報誌等活用による広報展開)	・船釣り大会①	・フットサル開催(夏大会) ・企画検討会		・企画検討会 委員会
事業共創委員会	・異業種研究会(交流会)への参加 ・ビジネスマッチ活動 ・大学・行政連携タスク ・新研究会テーマ(新ビジネス研究会)(農商工ビジネス研究会)		(フロンシス2008自主活動への参加)		・StartUP Weekend SENDAI ・仙台フィンランド健康センター視察	・異業種交流セミナー 委員会
地域活性化支援	・他団体との連携によるITモデル化推進、アライアンス事業の検討推進等					
組織基盤強化	・次期中期計画策定の検討・とりまとめ					
ビジネス推進部会	・新ビジネスへの取組(随時検討・対応)					
事業運営強化	UIJターン促進事業の推進(ICT技術者の確保・育成)					
カンファレンス実行委員会	(開催内容の検討) 準備作業 実行委員会					
情報発信部会	(協会情報誌の戦略的活用(協会パンフレット)、会員企業データベースの戦略的活用、MISAホームページの戦略的活用、MISA ・情報誌発行(第39号) 部会					



## 委員会報告

## 平成28年度新卒向け【MISA会員企業合同企業説明会】

人材確保  
推進委員会

平成28年3月9日に、就活解禁日（企業エントリー開始）に合わせて、MISA会員企業合同企業説明会を開催致しました。例年各社の採用活動は大手企業が落ちついた頃を見図ってというところがあったのではと思いますが、求人難の昨今の事情を勘案し、また専門学校、一部の大学側から、学生は地元志向が強いのですが、首都圏企業からの早期に囲い込みに会いずると取り込まれているとの意見もあり、今般の就活解禁日直後の開催に至りました。当日はMISA会員企業（応募期限前に応募企業多数のため打ち切り）21社、専門学校生、4大生150名に参加して頂きました。会場が東北電子専門学校ということもあり、東北電子専門学校の学生が多かったのですが、今年度の採用に関する会員企業のアンケートの結果では、東北電子専門学校生の学生が今年度の採用のトップでしたので、開催については一定の成果があったのではと判断しております。



東北電力企業グループ

トインクス  
**TOINX**  
ITで、感動を、ともに。

東北地域の発展に向け  
IT面から最大限に貢献し  
お客さまの情報システムを  
しっかり支え、キッチリ守ります。

東北インフォメーション・システムズ株式会社

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目 9-10 セントレ東北

Tel.022-799-5555

Fax.022-799-5561

<http://www.toinx.co.jp/>

## 委員会報告

## 【伊達なICT-WORKせんだい・みやぎ】活動報告

人材確保  
推進委員会

宮城県より「ICT技術者UIJターン等促進事業」としてMISAが受託し、7月1日より始動しました。本事業では、地域ICT企業への人材確保が大きなテーマとなっています。この間、MISA会員企業（本事業参加企業）向けに新卒者（2016年新卒）や転職者向けの会社合同説明会（仙台、首都圏）や専門学校、各大学での出前合同企業説明会を開催致しました。また、入社一年目の新人、中途採用者への各種教育を実施し、人材育成、人材定着、他社受講者との交流に資する教育を展開してまいりました。更に、宮城県内のICT企業への就業に関心のある求職者（新卒学生、転職者）を対象に、MISA会員企業見学交流会（仙台市内、仙台市内&県内観光地）を開催し県内ICT企業での就業意欲を高めてもらうことを目的として、求人企業見学や代表者や在職者との交流会を企画実施してまいりました。今回の事業を通じて、人材確保に係る問題点や将来に対する取組等学ぶべきことが多く、今後MISA会員企業の人材確保に大いに貢献致したいと意を新たにしております。



## 委員会報告

## グローバルセミナー開催報告

人材育成  
委員会

2016年2月25日（木）に、「日本のIT人材不足を補う外国人IT人材の可能性」をテーマに、2時間のセミナーを開催致しました。

当日は23社31名の方がご参加され、皆さま熱心にご聴講頂きました。

セミナーは2部構成で、第1部では株式会社アイテック（<http://www.itec.co.jp>）代表取締役社長の土元克則氏により、日本での外国人IT人材の就業状況やアイテック社がベトナムで実施する人材育成の状況について、ご講演頂きました。

また第2部では、日本で働く事を目的にアイテックベトナム社の教育を受けている現地ベトナム人材10名と、スカイプで繋いで交流を図りました。スカイプの通信状態により、一部聞き取りにくかったところもありましたが、総じて現地学生の言っている事は伝わりました。そして何より彼らの熱心さ・誠実さにMISA会員の皆さまが引き込まれ、質疑応答も活発に行われました。それは予定時間を少しオーバーする程で、今回ご参加された方々の興味の大きさを感じました。

IT人材需要が高まり人材不足の状況が続いている今、外国人材の採用も有効ではないかと感じたセミナーでした。



## 委員会報告

## 第9回MISA会長杯フットサル夏大会

福利厚生  
委員会

第9回MISA会長杯フットサル秋大会が昨年の10月31日(土)、リベラ鶴巻さんで開催されました。

今大会もオープンクラスとビギナークラスで、20チーム約221名の参加となりました。

さて、試合の方はオープンクラス・ビギナークラスともに白熱した試合が繰り広げられ、オープンクラスではアート・システムさんが大会3連覇を達成しました。ビギナークラスでは株式会社ケーヒンエレクトロニクステクノロジーさんが初優勝されました。今回一番印象に残ったのは、アートさんとNID東北さんが絡んだオープンクラスのトーナメント戦でした。準決勝はNID東北さんとSRA東北さんで1対1の引き分け、PK戦の末NID東北さんが勝ち、決勝戦はアートさんとNID東北さんで3対3の引き分けで、またもやPK戦となりました。NID東北さんの初優勝かと思われましたが、僅差でアートさん優勝となりました。それにしては同じ高校でツートップを張った二人(菅原さん、青砥さん)の対戦は見応えがありました。

2016年度も同じリベラ鶴巻さんで開催を予定(7/2,10/29)しています。ご参加方よろしくお願いたします。

## オープンクラス結果

優勝：株式会社アート・システム

準優勝：NID 東北

3位：株式会社ビーフル

株式会社S R A 東北

コンソレーション優勝：テクノ・マインド株式会社

## ビギナークラス結果

優勝：株式会社ケーヒンエレクトロニクステクノロジー

準優勝：通研電気工業株式会社

3位：株式会社ステップ

NEC ソリューションイノベータ株式会社

コンソレーション優勝：株式会社サイエンティア



株式会社アート・システム



株式会社ケーヒンエレクトロニクステクノロジー



## MISA ジギング大会の開催

福利厚生  
委員会

昨年10月24日(土)ジギング大会を開催しました。

今回の参加者13名は、塩釜港より乗船し、仙台港の沖合にある漁場に向かいました。

当日の天気は快晴、波も穏やかで最高の釣り日和となりました。

しかしながら、当日は魚の活性が低く思うように釣果が伸びませんでした。また参加者の大半は、ジギングが初めてということもあり、ルアー(ジグ)のアクションやリトリブのスピード等に苦戦しているようでした。釣れる魚は本命のワラサ、ヒラメ、ホウボウそれにサバの4種類で、サイズもますますだったので、数釣りさえできれば、と皆さん最後まで頑張った結果、なんと!優勝・準優勝がサイバーコム(株)の方々の独占状態となりました。

## 【成績】(敬称略)

優勝：ワラサ 63cm 菊地直毅様 サイバーコム(株)

準優勝：ヒラメ 60cm 奥山 栄様 サイバーコム(株)

準優勝：ワラサ 60cm 菅原 彰様 サイバーコム(株)

えびす屋賞：ワラサ 59cm：永倉和則様



## 委員会報告

## ICT CONFERENCE2016の開催

カンファ  
レンス実行  
委員会

平成28年2月18日（木）14:00より、せんだいメディアテークにおいてMISA主催、JASIPA共催による“テクノロジーを未来のチカラに”をコンセプトにICT CONFERENCE2016が開催されました。

基調講演では、組込分野の先駆者であるトライポッドワークス(株)代表取締役の佐々木賢一氏より、視覚データが拓くICTの未来をテーマに今話題のドローンの解説とドローンがもたらすソフトウェアの重要性を、JASIPAグローバル委員会委員長の白井千晶氏には、グローバル戦略の実体験によるICT海外よもやま話を各々講演頂きました。

続いてJASIPA、MISAの企業4社によるライトニングトークが行われ、97名の参加者のもと盛況のうちに閉会となりました。



## 委員会報告

## 芋煮CATION2015の開催

カンファ  
レンス実行  
委員会

平成27年10月11日（日）10:00~16:00に、秋保森林スポーツ公園と隣接ホテルにおいて、WATASHIGOTOとMISAダブル主催による就活イベントを開催した。

午前の部では、わかる事務所代表玉樹真一郎より「未知をつくる、未知になる」をテーマに講演いただき、午後の部では宮城県内ICT企業との交流会として、芋煮会を開催しました。学生17名、企業27名の参加で盛大の内に終了となりました。



## 委員会報告

## 第29回MISA親睦ゴルフ大会

経営  
委員会

春と秋の年に2回行われるMISA親睦ゴルフ大会も今回29回を迎え、14組55名が参加し日頃の腕前を競い合い、和気あいあいと会員の親睦を深めるゴルフ大会となりました。

◆開催日:平成27年10月27日(土) ◆場所:西仙台カントリークラブ

## 【成績】(敬称略)

	NET	グロス
優勝:	日向 輝雄 (70.6)	(79) (株)イツ・コーポレーション
準優勝:	佐藤 英夫 (72.4)	(94) (株)ブレイド
第3位:	高橋 晶 (73.6)	(88) (株)クロスキャット
第4位:	赤羽 具永 (73.8)	(81) 東北ディーシーエス(株)
第5位:	熊谷 健児 (73.8)	(99) (株)ジャステック



## 「みやぎ移住・定住推進県民会議」でMISAが決意表明

宮城県では、仕事と人の好循環を作り、県内への新しい人の流れを作る「地方創生」への取組として、首都圏等の他県からの移住・定住を推進しています。その一環として、受入体制の整備や情報発信について、行政、関係団体、移住者を含めた住民等が連携・協力していくためのネットワーク「みやぎ移住・定住推進県民会議」が平成27年8月31日に設置されました。本会議には当協会を含む29団体、県内26市町村が参画、平成28年2月1日の第二回会議において村井知事挨拶に引続き行動宣言が採択され、MISAは趣旨に賛同し、決意表明を行いました。

### みやぎ移住・定住推進県民会議 行動宣言

私たちは、「地域資源を最大限活用した、持続可能で安全・安心な社会の実現」を目指して、県民がふるさとに愛着を持って暮らし続けられるよう、また、たくさんの県外の方が安心してみやぎに移住・定住できるよう、それぞれの立場で、次の取組を進めることを宣言します。

1. 地域産業の高付加価値化や創業しやすい環境づくりにより、質の高い雇用機会を生み出し、みやぎでの就職や就業を支援します
2. 地域全体で結婚・出産・子育てを応援する環境づくり、子育て世代に優しいみやぎを目指します
3. 地域の担い手となる人材・地域で仕事を創る人材を受け入れる実績を積み重ねるとともに、女性の視点も大切にしたコミュニティ形成により、移住者に安心して定住・定着してもらえる地域づくりを目指します
4. 豊かな自然や歴史といった観光資源、多彩な食材をはじめ、地域の魅力を掘り起し、磨き、発信し、移住先としての「宮城ブランド」の定着・向上を目指します
5. 地域の仕事や住まいなど、移住希望者の求める情報を有機的に連携させて発信し、「ちょうどいい、宮城県。」をアピールしていきます

### 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会決意表明文

現在、ICTはあらゆる分野で活用され、イノベーションを誘発する大きな力を持っており、成長を牽引する生産性向上のみならず、経済再生や社会的課題解決に大きく貢献する基盤技術となっております。地方創生を確実に進めるにあたってICTの利活用は不可欠であり、それらを担うICT技術者の確保・育成が真に求められている現状にあります。

このような状況から、情報産業の人材確保・育成に取り組んでいる当協会として、行動宣言に基づき、地域新卒者並びにUIターンによる人材獲得を積極的に推進するとともにニアショア事業等を通し、みやぎ移住・定住の推進に寄与していくことを決意表明する。





「食の6次産業化プロデューサー」キャリア段位制度  
～ 国家戦略・プロフェッショナル検定～

**食の6次産業化プロデューサー育成研修 受講者生募集！！**

【募集概要：予定】  
募集期間：平成28年7月～9月 研修期間：平成28年10月～平成29年2月  
募集人数：最少開催人員 22名




食分野で新しい価値を創造する

【お問合せ】  
株式会社仙台ソフトウェアセンター 022-298-3709  
<http://www.navis.co.jp/syoku-pro/index.html>  
※詳細については、6月以降にHPでお知らせいたします。



事務局からのお知らせ

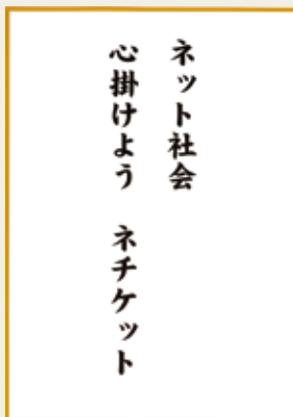
## IPA主催第11回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2015に参画

標記コンクールは情報モラル・セキュリティをテーマとした標語やポスター、4コマ漫画の創作活動を通し、全国の小・中・高生達がインターネットの安全利用等を意識する目的で、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が主催し開催しているもので、昨年より当協会も趣旨に賛同し後援をおこなっております。

地域賞(宮城県内)として、事務局長が代表し下記の通りMISA会長賞を選出、平成27年12月8日、宮城県警察本部において表彰式を行いました。

## ● 一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 会長賞 ●

部門	作品	生徒名	学校名
標語	ネット社会 心掛けよう ネチケツト	和野 あみ さん	宮城県立涌谷高等学校
ポスター	それ、本当に安全ですか？	佐藤 あゆみ さん	仙台市立中野中学校
4コマ漫画	なりすまし詐欺	佐藤 美夕 さん	聖和学院高等学校



和野 あみ さん

宮城県立涌谷高等学校 1年



佐藤 あゆみ さん

仙台市立中野中学校 3年



佐藤 美夕 さん

聖和学院高等学校 2年



## 新入会員紹介 (平成27年10月1日以降の入会)

### 正会員-入会 賛助会員-入会

会員数 (正会員・・・163社 賛助会員・・・41社)

入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
10月1日	(株)デジタルハーツ仙台技術センター (代表取締役社長 山本 純)	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-45 AI.Premium 8F TEL 022-791-3005 FAX 022-257-8230
10月1日	(株)ネットワーク21 (仙台事業所所長 川名 祐樹)	〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-45 AI.Premium 8F TEL 022-791-3505 FAX 022-297-0330
10月22日	(株)チップス (代表取締役 長澤 直樹)	〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町3-11 TEL 022-390-4490 FAX 022-390-4491
12月1日	(株)ヒューマン・ネットワーク (代表取締役 小野寺 大)	〒981-3133 仙台市泉区中央1-7-1 地下鉄泉中央駅ビル6F TEL 022-341-0737 FAX 022-341-0738
1月1日	(株)アズワン (代表取締役 穴戸 敏宏)	〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-19 ヘルテックス春日町4F TEL 022-204-5213 FAX 022-204-5214
4月1日	スマートメディカル(株) (仙台支店長 吉田 雄)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-5-28 カーニープレイス仙台駅前通702 TEL 022-397-6240 FAX 022-397-6350
10月1日	カメイ(株)法人営業部 (取締役法人営業部長 佐藤 淳)	〒980-8583 仙台市青葉区国分町3-1-18 TEL 022-264-6135 FAX 022-264-6024
10月19日	(株)モノクラフト (代表取締役 五十嵐 朗)	〒980-0804 仙台市青葉区大町1-1-18 西欧館4F TEL 022-211-8878 FAX 022-211-8878
12月3日	CDataSoftwareJapan(株) (代表取締役 疋田 圭介)	〒980-0021 仙台市青葉区中央4-10-3 仙台キャピタルタワー2F TEL 050-6865-7554
4月1日	パールナレッジ(有) (取締役社長 大和 晴彦)	〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡108-10-702 TEL 022-352-1481 FAX 022-352-1482
4月1日	(株)アイエスエフネット (仙台支店長 福永 蔵)	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-10-11F TEL 022-722-2891 FAX 022-722-2893
4月1日	アルファビジョン (代表 高橋 貴紀)	〒982-0806 仙台市太白区御堂平11-23 TEL 090-4638-0725

(敬称略)

## お陰様でMIA設立20周年！ 記念行事開催のお知らせ

1. 期 日 平成28年6月9日(木)

2. 会 場 ホテルメトロポリタン仙台

3. 開催内容

◎記念総会 14:20～15:50

◎記念講演会 16:00～17:20

◎記念パーティ 17:30～19:00

演 題：『ICTが脳に与える影響』（仮題）  
演 講 師：東北大学加齢医学研究所長 川島 隆太 教授

編

集

後

記

今期はMISA設立20周年でもあり、色々な記念行事が企画されており。会員の方々、それらに積極的にご参加いただき共に祝い親交を深めていければと思っております。節目の年でもありますので、情報発信部会としても、さらなる会員企業様並びに地域貢献のための新しい取り組みを提言してまいります。

また今年は4年に一度のオリンピックもブラジルのリオデジャネイロで開催されます。各国から選ばれたアスリートの文字通り世界トップレベルの競技が楽しめる年でもあります。

一方では東日本大震災から5年を経過しましたが、沿岸部はまだまだ仮設暮らしの方々があります。高上げ工事も未だに続いており港の周辺では重機の音や大型ダンプカーの往來の音も絶え間なく続いています。漁業の方々の生活を支える船の数は着実に増え、牡蠣やワカメの養殖、それらを出荷のための設備はかなり揃って来たように見受けられます。復旧復興の過程では、ITの利活用も各方面で確実に増えてきており、MISA会員企業としても今後ますます活躍が期待されてくるものと思われま。色々な意味で今年は思い出に残る年となりそうです。(田代)